

# 紙vs端末 頂上決戦

班員 谷口岳隼 甲斐百葉  
甲斐陸滉 池田惟真

指導者 大西圭先生

## 研究の動機

将来教師を志望している私たちは、ネット環境が整った今の時代、授業でもプリントやノートを使用したり個人端末を使用したりしていることからより理解度を高められる授業にするためにはどれを使用するのが良いのか気になったため。

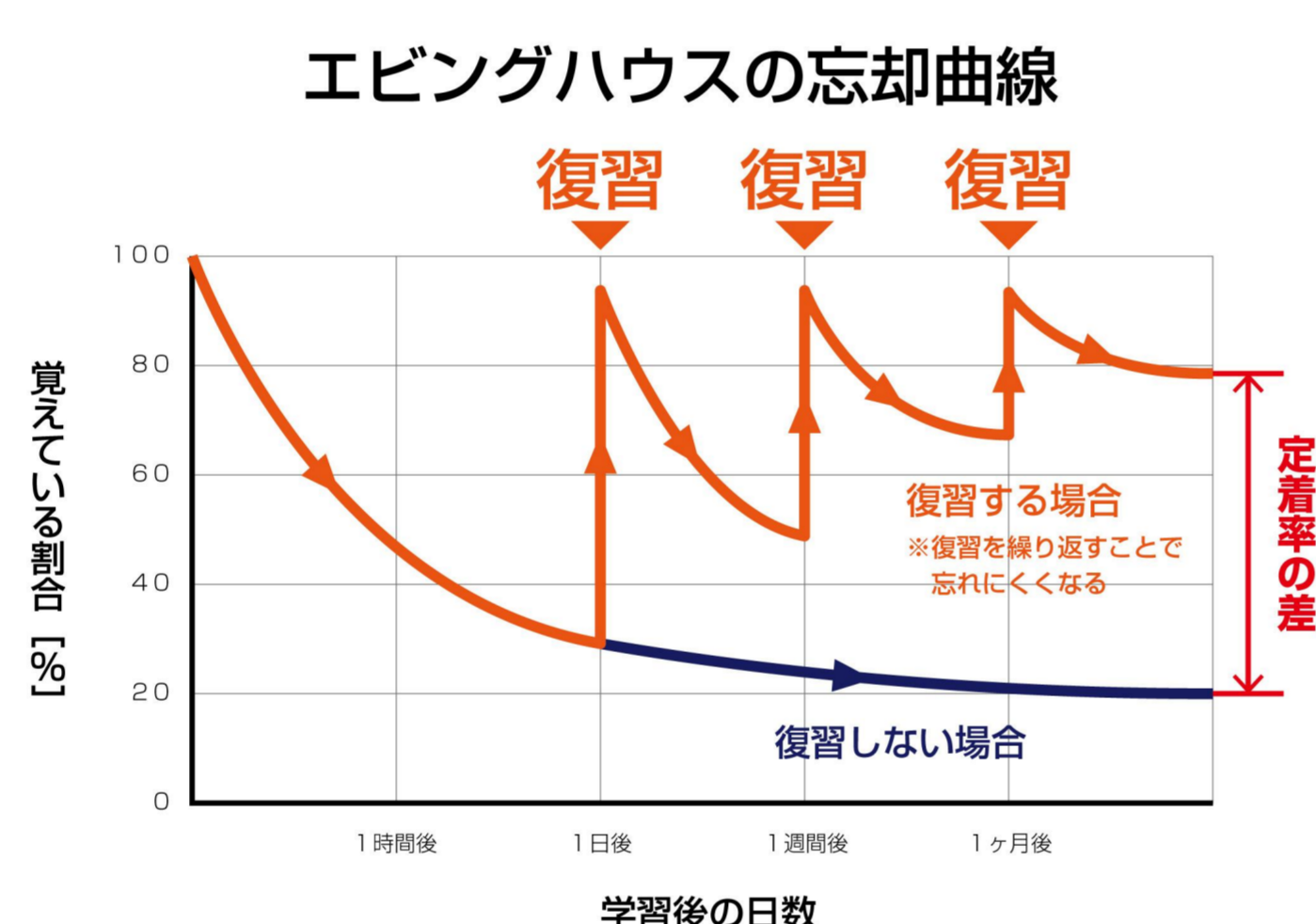
## 研究の目的

より理解度を高めるためにはどの教材をどのように使えばよいのかを検証し、今後の学校生活を含め、将来の教師という夢に活かす。

## 先行研究

- ・エビングハウスの忘却曲線
- ・紙と電子, 単語記憶にはどちらのメディアが有利か

[https://ipsj.ixsq.nii.ac.jp/ej/?action=pages\\_view\\_main&active\\_action=repository\\_view\\_main\\_item\\_detail&item\\_id=110533&item\\_no=1&page\\_id=13&block\\_id=8](https://ipsj.ixsq.nii.ac.jp/ej/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=110533&item_no=1&page_id=13&block_id=8)



## 研究方法

同じポスターを被験者の半分には紙でもう半分にはタブレットで3分間見てもらい記憶してもらおう。

〈人数〉

紙 10人

タブレット 10人 ×2

(実験回数は必要に応じて変更する)

直後にテスト ……理解力を図る

5日後にテスト ……記憶力を図る

10日後にテスト ……長期間の記憶力を図る

## 必要な道具

- ・教科書
- ・ノート
- ・授業プリント
- ・個人端末
- ・無地のプリント



## 仮説

『3分間見た直後は紙と端末どちらもテストの平均は変わらないが日がたつにつれて紙のほうが端末より点数が高くなっていく。』

## 研究計画

理解力と記憶力の2つの方向からそれぞれどちらがよいのかを考察する

|        |                                       |
|--------|---------------------------------------|
| 4～5月   | 実験で使う暗記用のポスター、テスト用紙の作成<br>(2回分)       |
| 6～7月   | 実験を行う<br>被験者20人に実験を2回行う               |
| 夏休み    | 集計する<br>グラフや表にまとめる<br>(実験が足りなければ行う)   |
| 9～10月  | 実験結果より考察し、<br>場面ごとにどちらを使ったほうがいいのかを考える |
| 11～12月 | ポスター作りを行う                             |

## 参考文献

・学習教材のデバイスとしてのiPad・紙・PCの特性比較

・表示媒体が文章理解と記憶に及ぼす影響—電子書籍と紙媒体の比較—